

建設産業の女性定着促進 に関する取組

建設産業女性定着支援
ネットワーク幹事長

須田 久美子

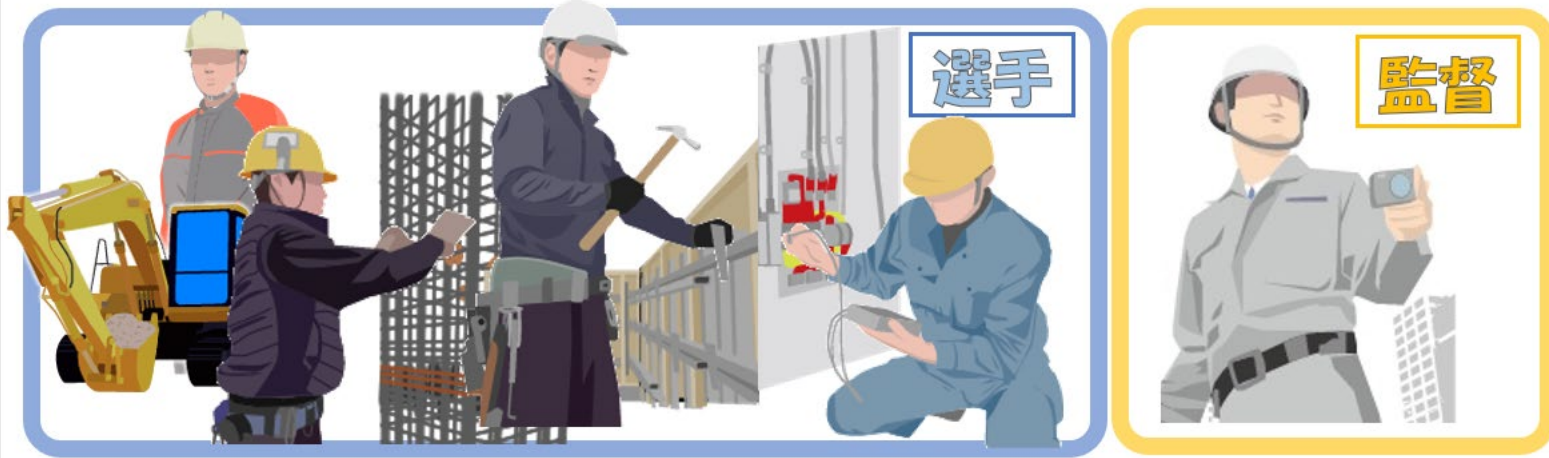


建設産業で働く技術者と技能者



建設産業はチームスポーツに似ている

建設現場には、全体を指揮する**技術者(監督)**
そして、それぞれのポジションには、様々な分野の
スペシャリストである**技能者(選手)**がいます。



専門工事業には大工、左官、鉄筋、
とび・土工・コンクリートなど
27の建設業の種類があり、
そこで働く登録基幹技能者は43職種

ゼネコン=ゼネラルコントラクター(総合建設業)
各種の土木・建築工事を
一式で発注者から直接請負い、
工事全体の取りまとめを行う建設業者

2014-2020 建設業行動計画



平成26年8月	「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」策定			
策定趣旨	これまで以上に女性が就業しやすい業界は男女問わず、誰もが働きやすい業界を意味し、業界全体の活性化にもつながる。			
策定団体	国土交通省および建設業5団体※ ※建設業5団体: (一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)全国中小建設業協会、(一社)建設産業専門団体連合会、(一社)全国建設産業団体連合会)			
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自主計画の策定や快適トイレの推進等 ・女性技術者、女性技能者数を5年間で倍増 			
結果		平成26年	平成31年	✓女性技術者、女性技能者数が増加する等、一定の成果あり
	女性技術者	1.1万人	2.2万人	
	女性技能者	8.7万人	11.2万人	✓建設産業で働く女性の入職促進、定着を図ることを目的に2018年に「建設産業女性活躍推進ネットワーク」を設立
課題	子育て世代(25歳～49歳)の女性の離職率が高く、働く女性の定着に課題がある			

前計画策定後

働き方改革関連法や新・担い手3法を受けて、建設産業を取り巻く環境が変化
業界全体の変化を踏まえた取組みの見直しを行う必要性

新計画の策定



令和2年1月	「女性の定着促進にむけた建設産業行動計画」 策定
策定趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・建設産業における女性の就業をさらに促進するためには、就業の継続が大きな課題であり、本行動計画策定により、建設産業で働く全ての女性が「働きがい」と「働きやすさ」を両立した就業継続を実現することを目的としている。 ・「働きつづけられるための環境整備」に重点を置くことを端的に表現するため、これまでの「女性活躍」ではなく「女性定着」という表現を使用。
策定団体	<p>国土交通省、建設業5団体※1および建設産業女性活躍推進ネットワーク※2</p> <p>※1 建設業5団体: (一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)全国中小建設業協会、(一社)建設産業専門団体連合会、(一社)全国建設産業団体連合会)</p> <p>※2 現在の建設産業女性定着支援ネットワーク</p>
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「働きつづけられるための環境整備」を中心に3つの柱で構成 <ol style="list-style-type: none"> ①働きつづけられるための環境整備を進める ②女性に選ばれる建設産業を目指す ③建設産業で働く女性を応援する取組を全国に根付かせる
数値目標	<p>柱の趣旨を達成するための取組目標(～令和6年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「女性の入職者数に対する離職者数の割合」を前年度比で減少させる ・「入職者に占める女性の割合」を前年度比で増加させる ・新計画の内容の認知度100%を目指す。 ・都道府県単位で活動している団体の「建設産業女性定着支援ネットワーク」への加入をすべての都道府県で目指す



現在、本計画に基づき、官民をあげて建設産業における女性活躍・定着促進に向けた活動に取り組んでいる

女性の定着促進に向けた建設産業行動計画～働きつづけられる建設産業を目指して～国土交通省

Plan for Diverse Construction Industry where no one is left behind

○建設産業では、業界全体を活性化させるため男女問わず誰もが働きやすい業界とすることを目的に、平成26年8月の前計画策定以降、官民が一体となって、**女性の入職促進や就労継続に向けた様々な取組を実施**。一方、新・担い手3法、i-Construction、建設キャリアアップシステムなど**建設産業を取り巻く環境が変化**。
○こうした取組をさらに促進するためには**就業の継続が大きな課題**であることが顕在化したことから、**建設産業で働く全ての女性が「働きがい」と「働きやすさ」の両立により、就業継続を実現**することを目的としつつ、「働きつづけられるための環境整備」を中心に「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」を策定。

計画の柱	官民を挙げた目標	取組内容（主な取組例）															
働きつづけられるための環境整備を進める	<p>「女性の入職者数に対する離職者数の割合」を令和6年までの間、前年度比で減少させる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2014</th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設業</td> <td>71.0%</td> <td>103.7%</td> <td>79.7%</td> <td>66.7%</td> </tr> <tr> <td>産業計</td> <td>85.3%</td> <td>88.4%</td> <td>91.6%</td> <td>92.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：雇用動向調査を基に国土交通省で算出</p>		2014	2015	2016	2017	建設業	71.0%	103.7%	79.7%	66.7%	産業計	85.3%	88.4%	91.6%	92.0%	<ol style="list-style-type: none"> 建設産業の女性定着に向けた意識改革の必要性 イクボス宣言の推進（社内広報などで宣言を見える化） 働き方改革の取組の推進 施工時期の平準化の推進、適正な工期の設定 「働きがい」と「働きやすさ」が両立できる環境の整備 柔軟な働き方（短時間勤務制、フレックスタイム制、テレワーク、ワークシェアリングなど）ができる環境整備 働きやすい現場の労働環境の整備 工事の現場において快適トイレや更衣室などの導入促進 復職に向けたサポート環境の整備 建設キャリアアップシステムを活用して職場復帰時に就業履歴を証明、能力評価基準を活用してキャリアパス例を提示 更にスキルアップできる環境を整える Web学習プログラムなどの職場外での技術・技能向上に向けた機会の提供
	2014	2015	2016	2017													
建設業	71.0%	103.7%	79.7%	66.7%													
産業計	85.3%	88.4%	91.6%	92.0%													
女性に選ばれられる建設産業を目指す	<p>「入職者に占める女性の割合」を令和6年までの間、前年度比で増加させる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2014</th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設業</td> <td>19.5%</td> <td>15.0%</td> <td>21.2%</td> <td>19.4%</td> </tr> <tr> <td>産業計</td> <td>54.6%</td> <td>52.9%</td> <td>52.9%</td> <td>51.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：雇用動向調査を基に国土交通省で算出</p>		2014	2015	2016	2017	建設業	19.5%	15.0%	21.2%	19.4%	産業計	54.6%	52.9%	52.9%	51.3%	<ol style="list-style-type: none"> 建設産業の魅力、働きがいの発信などによるイメージ戦略 教育現場と連携した、学生とその保護者に対する建設産業の魅力のPR活動（現場見学会や出前講座の実施など） 企業や業界団体の女性定着に関する理解の促進 女性定着に関する企業の好事例の情報発信 新しい建設産業の魅力を創造・発信 i-Constructionの取組などの建設産業における働き方改革の取組についての情報発信 女性が活躍している仕事例の紹介 女性が活躍している仕事例の事例を収集し、情報発信 えるぼし、くるみんの認定取得に向けた取組を促進 アンケート調査を通じた認定取得に向けた取組の実態把握や、その結果を踏まえた実効性のある取組（説明会における認定取得に向けた働きかけなど）を業界と連携して実施 建設産業に関係する制度の整備など 建設業の現場における労働法制の影響などに関する整理（女性技能者の坑内労働など）
	2014	2015	2016	2017													
建設業	19.5%	15.0%	21.2%	19.4%													
産業計	54.6%	52.9%	52.9%	51.3%													
建設産業で働く女性を応援する取組を全国に拡げさせる	<p>①令和6年までに新計画の内容の認知度100%を目指す。</p> <p>②令和6年までに都道府県単位で活動している団体の「建設産業女性定着支援ネットワーク」への加入をすべての都道府県で目指す</p>	<ol style="list-style-type: none"> 計画の普及を図るための広報活動 新計画策定委員会に参加していない業界団体に対するPR方法の検討 建設産業女性定着支援ネットワークのさらなる活動の充実、全国展開 建設産業女性定着支援ネットワークの構成団体が各地で行う地域ぐるみの活動の支援 地域中小建設企業における女性技術者・技能者の確保・育成 各地域における女性定着のための取組の推進 															

建設産業女性定着支援ネットワークとは



全国各地に組織されている、女性活躍を推進する団体の相互交流や情報交換、連携等を促すことにより、建設産業で働く女性の入職促進、定着を図ることを目的として、平成30年度に「建設産業女性活躍推進ネットワーク」として、始動。

令和2年1月16日に策定された「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」の策定を受けて、令和2年3月1日に「建設産業女性活躍推進ネットワーク」から現在の「建設産業女性定着支援ネットワーク」に改称しました。登録団体は46団体(全国15、都道府県単位31(27都府県)、構成人数は約9,000人(令和5年6月末現在)。

※事務局:(一財)建設業振興基金

本ネットワーク登録団体の活動等を紹介するWEBサイト

本ネットワークの活動概要

タイムリーな情報を続々と発信

女性定着に関する情報を網羅

全国各地の取組を紹介

建設産業
女性定着支援
WEB



<https://www.kensetsu-kikin.jp/woman/>

WEBプラットフォームの整備

- ・各登録団体の活動を集約
- ・情報の共有化

新計画策定委員会への参画

全国大会・ブロック意見交換会

- ・好事例の水平展開
- ・相互交流の促進

女性定着促進に向けた人材育成支援

- ・WEBセミナー

ロールモデルの見える化・魅力発信支援

- ・ロールモデル集
- ・イベント開催支援

建設キャリアアップシステム活用促進

- ・事例集作成

(一社)茨城県建設業協会 建女ひばり会



活動方針

1. 女性活躍に関する広報活動
2. 現場見学会・視察の実施
3. 女性活躍に関する勉強会・研修会等の開催
4. 発注機関及び関連団体等との意見交換
5. 会員交流会の開催

主な活動

- ・建女ひばり会マーク作成、広報活動に積極活用
- ・現場見学会
- ・座談会(リアル&オンライン)
- ・ICT施工講習会
- ・ドローン飛行体験会
- ・現場パトロール
- ・女性活躍オンラインセミナー
- ・会員交流会
- ・建女ひばり会のWEBサイトページを新設
- ・建女ひばり会のロールモデル紹介をウェブサイト公開
- ・建女ひばり会会員の現場に掲げる横断幕作成、無料貸出
- ・現場掲示用ポスター作成、ウェブサイト公開
- ・のぼり旗作成、配布
- ・ステッカー作成、配布
- ・群馬県建設業経営強化等セミナーでの講演
- ・茨城県建設業協会長名で「いばらきダイバーシティ宣言」
- ・建設産業女性定着支援ネットワーク(NW)への登録
- ・NW全国大会への参加
- ・「インフラメンテナンスいしおか」オンライン勉強会
- ・夏休み!ドボジョと橋をみてみよう♪inいしおかオンライン

発足式(R1.9.12)



発足式の様子

- 女性部会への入会者114名のうち72名が出席
- 女性部会の設置要綱や役員、事業計画などについて承認
- 石津協会長をはじめ、協会役員や多数の来賓にもご出席いただく



基調講演の様子

「建設産業における女性活躍推進について」

講師 建設産業女性活躍推進ネットワーク
(現 建設産業女性定着支援ネットワーク)
幹事長 須田 久美子 氏



建設産業女性定着支援ネットワークの活動 新計画策定委員会への参画



「建設産業における女性活躍推進に向けた 新計画策定委員会」への参画

【日程】令和元年度内に3回実施(7月、11月、12月)

【目的】「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」の策定から5年が経過する年となることから、成果等を取りまとめ必要な見直しを行い、新計画を策定する。

【委員会の構成】

- ・国土交通省および建設業5団体※、建設産業女性活躍推進ネットワーク
- ※建設業5団体: (一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)全国中小建設業協会、(一社)建設産業専門団体連合会、(一社)全国建設産業団体連合会
- ・委員長: 須田久美子氏(建設産業女性活躍推進ネットワーク幹事長)



令和元年7月8日建設産業新聞

新計画の国交大臣手交

【日程】令和2年1月

【目的】「女性の定着促進に向けた建設業行動計画」が取りまとめ終えたことから、国交大臣に手交。

【プログラム】

- ・大臣へ新計画を手交
- ・須田委員長が委員会を代表して発言
- ・大臣と懇談

【参加者】策定委員会委員



令和2年1月17日建設産業新聞



建設産業女性定着支援ネットワークの活動 全国大会・ブロック意見交換会



建設産業女性活躍推進セミナー 全国大会2019

【日程】平成31年2月

【プログラム】

- ・国土交通省、内閣府による女性活躍に関する講演
- ・先進的な取り組みをする建設企業社長による講演
- ・各団体における最近の取組発表
- ・パネルディスカッション・意見交換会

【参加者】約250名

(登録団体含む関係者:約90名、
一般参加者等:約160名)

【主な登壇者】

- ・国土交通省 大臣官房建設流通政策審議官
- ・国土交通省 土地・建設産業局
建設市場整備課 建設市場整備課長
- ・内閣府 男女共同参画局総務課長
- ・株式会社松下産業 代表取締役社長
- ・ネットワーク幹事長・副幹事長



全国大会2020

【日程】令和3年2月(WEB開催)

【視聴者】約100名

YouTube
で公開中



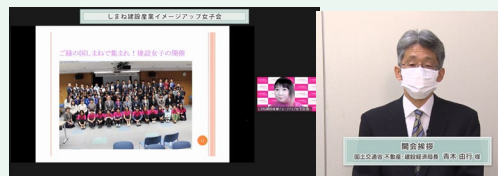
【主な登壇者】

- ・国土交通省 不動産・建設経済局長
- ・国土交通省 関東地方整備局 建政部長
- ・東洋緑化株式会社 代表取締役社長
- ・大成建設株式会社 人事部長
- ・ネットワーク幹事長・副幹事長

【プログラム】

・新規登録団体の取組み紹介

- ①熊本県建設産業団体連合会 「くまもと建麗会」
- ②あおり女性建設技術者ネットワーク会議
- ③とっとり建設☆女星ネットワーク
- ④しまね建設産業イメージアップ女子会
- ⑤(公社)日本コンクリート工学会
「コンクリート分野における女性活躍推進普及委員会」
- ⑥(一社)茨城県建設業協会 「建女ひばり会」
- ⑦日機協女性部会「チームはにやま姫」
- ⑧けんせつ姫
- ⑨teamけんせつ美ら小町



・パネルディスカッション

トークテーマ

- ・コロナ禍における団体活動
- ・周囲の理解を得るコツ
- ・企業の画期的な制度や取組み事例等
- ・女性特有の悩み
- ・ハラスメントへの対応や防止策
- ・女性活躍・定着の推進のために必要なこと

ブロック意見交換会2022

登録団体間の連携強化・活動の活性化がねらい。

○北海道・東北・北陸ブロック

【日程】令和5年1月20日(WEB開催)

【参加者】約30名

○関東・甲信越ブロック

【日程】令和4年12月13日(WEB開催)

【参加者】約40名

○東海・近畿・中国・四国ブロック

【日程】令和5年1月12日(WEB開催)

【参加者】約50名

○九州・沖縄ブロック

【日程】令和5年1月20日(WEB開催)

【参加者】約20名

【プログラム】

- ・建設キャリアアップシステム(ccus)
- ・登録団体の取組紹介
- ・グループ意見交換会

意見交換会テーマ

各団体で取り組んでいること、取り組んでみたいことや建設産業女性定着支援ネットワークに期待することについて

全国大会2022

【日程】令和5年2月28日(WEB開催)

●第一部

【参加者】約70名

【プログラム】

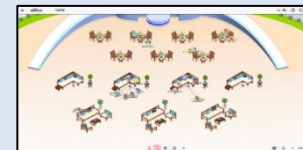
- ・建設産業女性定着支援ネットワークの取組み状況説明
 - ・登録団体の取組紹介
 - ・グループ意見交換会
- 意見交換会テーマ

将来の建設産業を担う次世代の人材を確保するための、若者への情報発信について
(特に進路が定まっていない小中学生やその保護者、更には学校の先生に建設産業の魅力を感じてもらおう)

●第二部

【参加者】約45名

バーチャル空間上でアバターを動かし、参加者同士で自由に懇談する。



建設産業女性定着支援ネットワークの活動

女性定着促進に向けた人材育成支援



事例集制作協力2020

現計画の趣旨を地域に根差すため策定された、アクションプログラム(事例集)の制作協力。

【掲載内容】女性の定着促進がテーマ

- ・47都道府県の自治体の取組み
- ・先進的な取組みを行う企業紹介
- ・建設産業で働く女性のキャリアパス例
- ・本ネットワークの紹介



WEBセミナー2021

- 第一部
 - 【日程】令和4年2月18日 (WEB開催)
 - 【視聴者】約60名
 - 【主な登壇者】
 - ・株式会社ワークライフバランス 講師 ネットワーク幹事長、副幹事長
 - 【プログラム】
 - ・基調講演 「採用・継続就業にも効く! 業績とモチベーションを上げる働き方」
 - ・パネルディスカッション トークテーマ(働く女性目線)
 - ・働く環境づくりの必要性を企業に浸透させるために女性が果たす役割について
 - ・先進的な取り組みができていない企業とそうでない企業の違い
 - ・企業において、意識改革を促進するための方法
 - ・誰もが就業継続できる建設産業であるためには

- 第二部
 - 【日程】令和4年2月22日 (WEB開催)
 - 【視聴者】約60名
 - 【主な登壇者】
 - ・三承工業株式会社 代表取締役 西岡 徹人 氏
 - ・有限会社原田左官工業所 代表取締役社長 原田宗亮 氏
 - ・ネットワーク幹事長、副幹事長
 - 【プログラム】
 - ・基調講演 事例紹介①総合建設業 「働きやすさと働きがいの両立に向けて」
 - 事例紹介②専門工事業 「新たなプロの育て方 左官業を若者と女性が活躍できる場へ」
 - ・パネルディスカッション トークテーマ
 - ※第一部と同様の内容で、第一部は働く女性目線で議論いただいたのに対し、第二部では、経営者目線で議論頂いた。

地域建設産業の就業継続に向けた意識改革WEBセミナー

1部 2022.2.18 (Fri) 14:00-16:00

2部 2022.2.22 (Tue) 14:00-16:00

参加無料 お申し込みはコチラ!

主催:建設産業女性定着支援ネットワーク 事務局 (一財)建設産業財団

講演者のご紹介

1部 2022.2.18

2部 2022.2.22

浜田 紗織氏
株式会社ワークライフバランス 代表取締役

西岡 徹人氏
有限会社原田左官工業所 代表取締役

原田 宗亮氏
有限会社原田左官工業所 代表取締役

建設産業女性定着支援ネットワークの活動 ロールモデルの見える化・魅力発信




ワークショップの共同開催2021

登録団体と本ネットワークが共同でワークショップを開催することで登録団体の取組みをサポートした。女性定着に資する意識改革に向けたテーマで4回実施。


【開催実績】

- 一般社団法人土木技術者女性の会 東日本支部、
一般社団法人茨城県建設業協会 建女ひばり会との共同開催
- ①「インフラメンテナンスいしおか」オンライン勉強会(7月)
- ②「インフラメンテナンスいしおか」リコチャレイベント(8月)




夏休み！ドボジョと橋をみてみよう♪ in いしおか オンライン(R3.8.18)

「インフラメンテナンスいしおか」オンライン勉強会(R3.7.2)を経て、オンライン形式で開催
小学4年生から中学2年生までの9名が参加
動画による石岡市の橋の点検やトンネル工事の現場見学をオンライン形式にて実施



実施内容

- ①ペーパークラフトで橋を作成
- ②橋梁点検の模擬体験：はなその橋(石岡市加生野地内)
- ③トンネルのオンライン見学：(仮称)上管トンネル(石岡工区)



小中学生が橋梁点検
ウェブで女性技術者と学ぶ
建女ひばり会

日本工業経済新聞
2021年8月24日(火)掲載

- 日本建築仕上学会 女性ネットワークの会との共同開催
- ①日本建築仕上学会 女性ネットワークの会 特別講演(12月)
- ②桃山学院高校塗装教室・トークイベント(12月)

ロールモデル集の作成協力2021

建設業への入職を検討している方や、就業継続に悩む方の参考になる事例集として、制作されたキャリアパス・ロールモデル集のヒアリング対象者を各団体から推薦。

【掲載内容】女性の定着促進がテーマ・10名の女性就業者を掲載・建設業界への入職理由や経緯、これまでの仕事面の経験やプライベートとの両立方法を掲載。



セミナーの共同開催2022

登録団体と本ネットワークが共同で開催したセミナーにおいて、登録団体の取組みをサポートした。建設キャリアアップシステム(CCUS)を盛り込んだ内容とし、4団体と計6回のセミナーを実施。

【開催実績】

- けんちくけんせつ女学校との共同開催
 - ・新しい建設業 FRIENDS 第二回 女性技術者・技能者のつどい(9月)
- 日本建築仕上学会 女性ネットワークの会との共同開催
 - ・日本建築仕上学会 女性ネットワークの会 第8回講演会(10月)
- 一般社団法人女性技能者協会との共同開催
 - ・女性技能者交流会(11月、12月、1月)
- 一般社団法人日本造園建設業協会との共同開催
 - ・地域リーダーズ情報交換会(11月)

建設産業女性定着支援ネットワークの活動 建設キャリアアップシステム活用促進



建設キャリアアップシステム活用事例集の作成

女性技能者の就業継続にCCUSが活用できることについて、技能者や事業者が具体的にイメージできるよう、出産・育児や介護による離職からの復職を例にモデル事例を作成。

【掲載内容】

CCUSを活用した女性の復職がテーマ

- ・2つのケース(産休・育休、介護)を紹介
- ・建設キャリアアップシステムの仕組みと「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」を掲載

女性の就業継続のための

建設キャリアアップシステム

CCUS における就業履歴の蓄積は、男性のみならず女性の就業継続にもご活用できます。女性の復職時における CCUS 活用のメリットや、女性の様々なライフイベントにおける復職のモデルケースをご紹介します。

～建設キャリアアップシステムとは?～

建設キャリアアップシステム(CCUS)は、技能者が、技能・経験に応じて適切に処遇される建設業を目指して、技能者の資格や現場での就業履歴等を登録・蓄積し、能力評価につなげる仕組みです。技能者の技能レベルに応じた4段階のカードを発行しています。



女性の復職時における CCUS 活用のメリット

～技能者としてのメリット～

休業してもキャリアがリセットされることなく、復職時に休業前のキャリアからリストアップすることができ、適切な処遇や異なるキャリアアップを目指すことが可能です。

～事業者としてのメリット～

女性技能者の復職時に、CCUSで過去の就業履歴をすぐに確認できますので、技能経験に応じた採用を検討することが可能です。

ケース1 産休・育休からの復職



ケース2 介護からの現場復帰



国土交通省
一般財団法人建設業振興基金

建設キャリアアップシステムの仕組み

積極的に能力評価
(レベル判定)
を申請しましょう!

システムへの登録

登録すると、CCUSカードが交付されます。



現場での読み取り

現場に設置されたカードリーダーなどで CCUS カードを読み取ります。



就業履歴の登録

CCUS に就業履歴が登録されます。



CCUS に登録された情報をもとにレベルを評価

CCUS に登録された就業履歴と資格によりカードの色がレベルアップします。



「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」について

行動計画の概要

平成 26 年に「もっと女性が活躍できる建設産業行動計画」を策定して約 5 年、新しい手3法、i-Construction、建設キャリアアップシステムなど建設業を取り巻く環境の変化により、女性が就業しやすい環境が整いつつありました。そのような中、環境の変化に対応するため、次の5年を展望した「女性の定着促進行動計画」を今年度1月16日に建設業団体で策定しました。新計画では、建設業で働く全ての女性が「働きがい」と「働きやすさ」の再立により、就業継続を実現することを目的として、「働きつつけるための環境整備」を中心に、3つの柱で構成し、それぞれの柱の趣旨を達成するための目標を設定しました。

予定団体	内容
国土交通省および建設業5団体 ¹⁾ 、建設産業女性活躍推進ネットワーク ²⁾ ※1 建設業5団体(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)全国中小建設業協会、(一社)建設産業専門団体連合会、(一社)全国建設業団体連合会 ※2 現在の建設産業女性定着支援ネットワーク	・「働きつつけるための環境整備」を中心に3つの柱で構成 ①働きつつけるための環境整備を進める ②女性に選ばれる建設業を目指す ③建設業で働く女性を応援する取組を全国に根付かせる 柱の趣旨を達成するための取組目標(～令和6年度) ・「女性の入職者数に対する離職者数の割合」を前年度比で減少させる ・「入職者における女性の割合」を前年度比で増加させる ・新計画の内容の認知度100%を目指す ・都道府県単位で活動している団体の「建設産業女性定着支援ネットワーク」への加入をすべての都道府県で目指す

建設産業女性定着支援ネットワークへの加入について

建設産業女性定着支援ネットワーク(以下、当ネットワーク)は、建設業で働く女性の入職促進、定着を図ることを目的に2018年度に設立された、全国各地に組織されている、女性の定着を推進する活動を行っている団体によるネットワークを構築しています。当ネットワークでは、この取組を全国に根付かせるために、新規団体を募集しています。建設業で働く女性の入職、定着を推進することを主たる目的とした団体であれば、幅広く加入頂けますので、ぜひ加入をご検討ください!

【問い合わせ先】建設産業女性定着支援ネットワーク

(事務局: (一財)建設業振興基金) TEL 03-5473-4572 MAIL jyokatsu@kensetsu-kikin.or.jp



今後の課題



つながる

①ネットワークへの登録団体を
47都道府県全てに行き渡らせる

★登録27都府県
未登録20道県



②技能者の団体登録を促進する

選ばれる

③次世代に向けた魅力発信に力をいれる

④建設ディレクターなどの新しい職域を支援し
理系以外の人材の入職を増やす

⑤女性技能者の坑内労働規制(労働基準法)
などの法規制の課題を整理し、女性の職域
拡大につなげる

働きつづけられる

⑥建設キャリアアップシステムへの女性の
登録を増やし、復職支援につなげる

⑦地域建設業、経営層の意思改革を促進し、
「働きがい」と「働きやすさ」が両立できる
環境整備を支援する